

<活動の様子>



事業名 人権と伝統芸能に関するお話と人形芝居

<目的>

「阿波木偶箱廻し」の公演・講話をとおして、被差別部落が担った芸能の中に秘められた「差別と偏見」について考えるとともに、伝統芸能の保存・継承についても知るための機会を市民に提供する。

<事業内容>

徳島県より芝原生活文化研究所と阿波木偶箱廻しを復活する会を招聘して、松山市大街道路上にて「阿波木偶箱廻し」の公演を行いました。また、広く市民に「阿波木偶箱廻し」を披露するとともに公演を収録・編集したDVDを制作し、松山市内の学校・公民館・ふれあいセンターに配布しました。

日 時 平成24年11月3日（文化の日） 11:30～16:00（4公演）

場 所 松山市大街道中央商店街

公 演 人権文化を考える「福を運んだ木偶箱廻し」

出 演 トーク：芝原生活文化研究所 代表 辻 本 一 英

人形遣い：阿波木偶箱廻しを復活する会 代表 中 内 正 子

<市民の参画や他団体との連携>

大街道中央商店街で開催のフリーマーケット会場（路上）での公演を実施しました。

協 力 松山市大街道中央商店街振興組合

<市民に対するPR>

同和問題や人権問題に対する「またか…」という忌避感を出来るだけなくして、興味や関心を高めることを考えた啓発事業を展開します。